

小学5年生 文章問題19

学習日

月 日

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

五月の終わり、学校では理科の授業で川の生き物を調べる学習が始まっていた。五年二組のまなみは、川の観察が楽しみでたまらなかつた。小さいころから自然が好きで、休みの日には父とよく公園や森に出かけていたからだ。そんなまなみにとって、学校の授業で川の生き物を調べるというのは、まるで本物の探検のように思えた。

観察の日の朝、教室はどことなくそわそわしていた。「カエルって触れる?」「ザリガニはどこにいるのかな」と、友だちの声があちこちで聞こえる。まなみは自分の準備したノートと虫めがねを何度も確かめ、心中で「今日は何が見つかるかな」と期待をふくらませていた。

学校から歩いて十五分ほどのところに、その川は流れていった。清らかな水がさらさらと音を立て、川辺には草がゆれている。先生が「安全に気をつけてね。川にはいろんな生き物がいるから、よく観察すること」と注意をすると、子どもたちは一斉に観察セットを手に川のほうへ向かつた。

まなみは、同じ班のたいちとりんかといっしょに川岸を歩き、石の下をのぞいたり草の間を探したりした。しばらくすると、たいちが「あつ、これ見て!」と声を上げた。駆け寄ると、小さなサワガニが石の影からちよこちよこと歩いていた。たいちがそつと手ですくい、三人で虫めがねをのぞき込む。「脚が細いね」「こんな小さくともはさみがあるんだ」と、発見したばかりの生き物に興味津々だった。

そのあとも、川の流れのゆるい場所ではオタマジヤクシが群れになつて泳いでいたり、水面近くではアメンボがすいすいと動いたりしていた。まなみはノートに「サワガニ一匹き、オタマジヤクシたくさん、アメンボ五ひき」とていねいに記録した。自然の中で生き物がどんなふうに暮らしているのか、自分が目で確かめられることができて楽しくて仕方なかつた。



観察を続けていると、突然、りんかが「あつ、まつて! 見て、これ!」と指をさした。その先には、川底に細長い影がゆっくりと動いていた。よく見ると、魚の稚魚が群れになつて泳いでいるのだった。光を受けてきらきらと光る姿は、とても美しかつた。三人が静かに見つめていると、先生がやってきて「これはアユの稚魚だね。この川は水がきれいだから、アユがすむんだよ」と教えてくれた。まなみは「自然を守るって大切なんだな」と胸の中でそつとつぶやいた。

観察の時間が終わり、学校へ戻る道で、三人は今日の発見について話し続けていた。「サワガニかわいかつたね」「アユつてもつと大きいと思ってた」「また来たいな」と、それぞれがうれしそうに振り返った。まなみは、今日の経験で自然への興味がますます強くなつた気がした。

家に帰ると、まなみは母に今日のことを詳しく話した。スケッチしたノートを見せながら、「また川の観察に行って、もつといろいろ見つけたいな」と言うと、母は「そんなに楽めたならよかつたね。今度の休日にまた行ってみようか」と微笑んだ。その言葉を聞いて、まなみの胸はぱつと明るくなつた。今日の発見は、ただの観察ではなく、自分の世界をひろげる大きな一步になつたのだと感じた。自然にふれ、生き物を知ることで、まなみは自分ももつと成長できるような気がしたのだった。

小学5年生 文章問題19

学習日

月 日

(1) 観察の日の朝の教室のようすとして、本文に合っているものを選び番号を○で囲みなさい。

みんな静かに読書をしていた。
生き物の話題でそわそわしていた。
教室で実験の準備をしていた。

④ 雨のため観察が中止になる話をしていた。
みんなはアユの稚魚を見つけることができなかつた。
川の水はきれいではないため、アユはいなかつた。

(2) 文中の――の「その川は流れていた」とあります、「その川」とはどのような川のことですか。本文よりその答えが書いてある一文を抜き出しなさい。

(3) まなみたちが川で見つけた生き物について、見つけた順に並べかえなさい。

- ① アユの稚魚
② アメンボ
③ サワガニ
④ オタマジャクシ

(4) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

() まなみはアユの稚魚を見つけることができなかつた。

() 川の水はきれいではないため、アユはいなかつた。

() まなみはサワガニやオタマジャクシ、アメンボも観察した。

() まなみは川の観察を通して自然を守ることの大切さを感じた。

(5) 先生が「アユの稚魚だね」と教えたとき、まなみはどうなことを感じましたか。本文の内容をもとに簡単に書きなさい。

(6) 家に帰ったまなみは、母の言葉を聞いてどんな気持ちになりましたか。本文の内容に最も合うものを見び番号を○で囲みなさい。

- ① 観察がこわくなつた
② がつかりして元気がなくなつた
③ また観察に行きたいと思つた
④ 生き物に興味がなくなつた

小学5年生 文章問題19

学習日

月 日

(1) 観察の日の朝の教室のようすとして、本文に合っているものを選び番号を○で囲みなさい。

- みんな静かに読書をしていた。
生き物の話題でそわそわしていた。
教室で実験の準備をしていた。
雨のため観察が中止になる話をしていた。

(4) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- (×) まなみはアユの稚魚を見つけることができなかつた。
(×) 川の水はきれいではないため、アユはいなかつた。
(○) まなみはサワガニやオタマジャクシ、アメンボも観察した。
(○) まなみは川の観察を通して自然を守ることの大切さを感じた。

(2)

文中の――の「その川は流れていた」とあります、「その川」とはどのような川のことですか。本文よりその答えが書いてある一文を抜き出しなさい。

(5) 先生が「アユの稚魚だね」と教えたとき、まなみはどうなことを感じましたか。本文の内容をもとに簡単に書きなさい。

(3)

まなみたちが川で見つけた生き物について、見つけた順に並べかえなさい。

解説例)
清らかな水がさらさらと音を立て、川
辺には草がゆれている。

解説例)
自然を守ることが大切だと感じた。

(6) 家に帰ったまなみは、母の言葉を聞いてどんな気持ちになりましたか。本文の内容に最も合うものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① アユの稚魚
② アメンボ
③ サワガニ
④ オタマジャクシ

③ → ④ → ② → ①